



代表よりご挨拶

目 次

P03-04 2022 年活動報告（第 1 号議案）

P05-06 コモビの魅力再発見！～データで見るコモビの社会へのインパクト～

P07-08 2023 年活動計画（第 2 号議案）

P09 2022 年度決算報告（第 1 号議案）

P10 2023 年度予算計画（第 2 号議案）

P11-12 役員改選（第 3 号議案）・議事録署名人（第 4 号議案）



理事長 安達亮

2023 年 1 月 1 日より、コモンビートは設立から 20 年目の事業年度に入り、20 周年記念となる節目の年を迎えました。これまでの 19 年間の活動を支えてくださったみなさんに改めて感謝申し上げます。

この 20 年間を振り返った時に、コモンビートとして大きな出来事となっているのは「東日本大震災」と「新型コロナウイルス感染拡大」です。

「新型コロナウイルス感染拡大」による、ミュージカルプログラムの約 3 年間に渡る休止は、私達に「ミュージカルができなくなったコモンビートの存在意義」を問いかけました。そうして組織のビジョンや運営体制を改めて見つめ直す中で生まれたのが、昨年発表した「コモビジョン」です。ずっと言い続けてきた「表現活動によって、自分らしくたくましい人を増やし、多様な価値観を認め合える社会の実現を目指す」その先に「地球とひとりひとりのウェルビーイング」を置き、ビジョンの位置づけを明確にしました。

また、2020 年に実施したクラウドファンディングによる支援もあり、昨年 7 月に東京、10 月に大阪、そして、2023 年 3 月に福岡にて、再開記念公演シリーズとしてミュージカルを再開することができています。私自身も東京公演キャストとして参加し、仲間たちと対面で心を合わせて歌って踊ることの大切さや心が喜ぶ瞬間を感じ、団体の代表としても個人としても、このミュージカルプログラムを今後より多くの人に届けて行きたいと決意を新たにすることができました。

そして、今年、団体設立 20 周年の節目にあたり、新たな取組を開始します。そのひとつが「Musical For All ーあらゆるひとに参加と鑑賞の機会をー」というプロジェクトです。参加や鑑賞のハードルになるものを減らし、より多くの方とミュージカルを分かち合うために、少しずつアクセシビリティを整備していきます。きっと 10 年以上かけて歩みを進めていく大変な道のりになると思いますが、今までの活動に参加してくださっているコモンビートファミリーのみなさんに加えて、企業や団体、教育機関や行政・自治体とも連携しながら進めていきたいと考えています。

2004 年の設立からの「これまで」を支えて下さったみなさん、本当にありがとうございます。20 周年記念のこの 2023 年、そして、そのさきの「これから」の未来も共に創っていきましょう！2023 年も、コモンビートへのご声援・ご支援をよろしくお願いいたします。



2020年2月の55期東京公演から2年以上の時を経て、ミュージカル「A COMMON BEAT」の幕がついに上がりました！慣れないマスク着用での練習、感染対策のための最低限の少ない練習回数、ライブ配信に全席指定席化など、初めての試みばかりでしたが、創意工夫を重ね、事務局も総出演で臨み、「#ふんばれコモンビート」クラウドファンディングでのご支援や、みなさんの応援・ご協力のおかげで、無事に公演を再開することができました。本当にありがとうございました！



キャスト
174名

0-55期まで歴代キャストに初キャストも参戦！



配信鑑賞
1280名

日本全国そして海外からご覧いただきました！



劇場鑑賞
3255名

リアルで感動を共有することができました！



がっつりバディも公演会場で集合！



チケット販売中

再開記念公演
フィナーレは、
3/19(日)
キャナルシティ劇場へ

オンラインプログラム

Jump in 週末留学



プログラム実施：3回(春,夏,冬)
コーディネーター：18名
スチューデント：83名
内、大学生 **35**名

2020年の開始から、3年間で50ヶ国と繋がり、世界の人々、多様な価値観と出会い続けてきました。このプログラムをきっかけに実際に海外に飛び出していった人もたくさん生まれました。

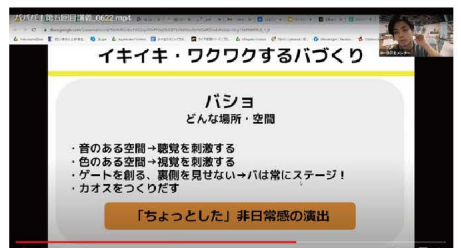
Diversity Journey



プログラム実施：2回(2期,3期)
パッセンジャー：24名

2021年から、現在進行中の4期生までで、卒業生は40人越え！プログラムが終わった後も気軽にコミュニケーションを取ったり、対話を重ねたりとコミュニティとしても成長中です。学びを独り占めしないことを大切に、SNSなどの発信にも力を入れ始めました。

バババ！場づくりゼミ



プログラム実施：2回
ゼミ生：20名

「今ある場をさらに良い場に塗り替えていく人を増やす」ことを目的に始まったコモンビート初のゼミ。体系的に学ぶだけでなく、自分が普段関わる職場やイベントなどの場に対してアクションを行い、小さくてもイキイキと過ごし、違いを楽しむ人々がいる場をつくりあげました。

See the difference



イベント：19回(内、オフライン1回)
参加者：218名

障害、政治、森林浴、手話エンターテインメント、就活…など、様々なテーマで、19個の違いと出会うことができました。いろいろな「違い」に触れることは、人生を豊かにしてくれるはず。これからも、カジュアルに違いに出会う機会を提供し続けます！

表現ひろば



実施企画：67(年間開催)
参加者：309名

コモンビートで一番最初に生まれた、オンラインでの表現の場も、2周年を迎えました。今年も個性豊かな企画で賑わいました。また、「企画者講習」を3回実施し、企画者として「表現ひろば」を利用できる人を増やしました。

学校訪問



小学校：3校(世界のダンス教室)
中学校：2校(世界のダンス教室)
高校：3校(人生劇場)

オンラインとオフラインを通じて約**1600**名に授業をお届け！「初めて聞いたリズムが面白かった！」「いろんな大人と触れる機会が減った中で貴重な場でした」「2年連続でお願いしていますが来年も来ててください！」などの声をいただきました！

common beat

コモンビートの魅力 再発見!!

データで見るコモンビートの社会へのインパクト

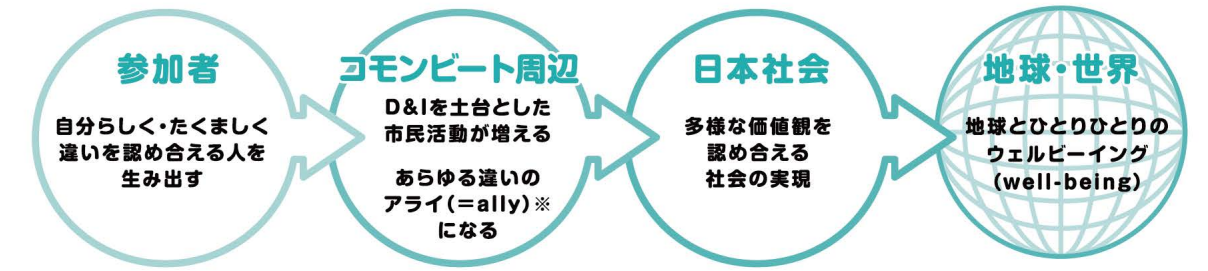
「何か良い、なんかすごい」からの脱却

何で調査・研究を？

「何か良い、なんかすごい」からの脱却

まずはコモビジョンの第1ステップである、参加者が「自分らしく・たくましく・違いを認め合える人」にプログラムを通して変化しているのかという部分にフォーカスして、2022年に行われた全5つのプログラム前後でアンケート調査を行い、154件の有効回答数を得ることができました。

プログラムの価値を社会的な文脈で見える化していく

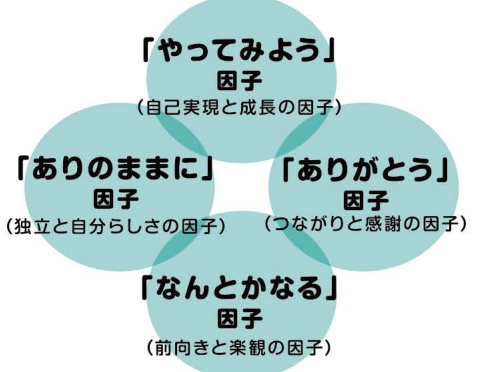


まずはプログラムを通して参加者にどのような変化が生み出されたかを見る化していく！

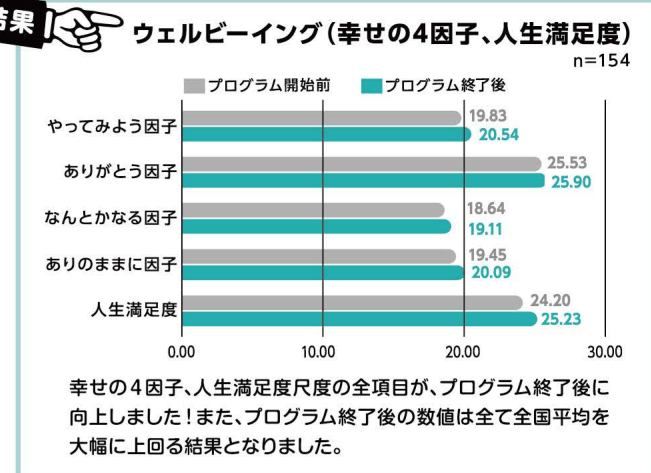
調査① ウェルビーイング

調査結果

幸せの4因子は、幸福学の第一人者である、慶応義塾大学の前野隆司教授が日本人を対象に行った調査で明らかになった、人の幸福を構成する4つの因子です。自己実現と成長の「やってみよう因子」、つながりと感謝の「ありがとう因子」、前向きと楽観の「なんとかなる因子」、独立とマイペースの「ありのままに因子」で構成されており、この4つの因子がバランスよく高まっているほど、幸福な状態であると言えます。



前野隆司「幸せのメカニズム 実践・幸福学入門」を基に作成



幸せの4因子、人生満足度尺度の全項目が、プログラム終了後に向上しました！また、プログラム終了後の数値は全て全国平均を大幅に上回る結果となりました。

考察

各因子の向上要因としては、夢や目標を明確にすること(やってみよう因子)、笑顔やハグ・スキンシップを取ること(ありがとう因子)、課題や悩みを可視化し、ポジティブな表現を行うこと(なんとかなる因子)、新たな一歩を踏み出すこと(ありのままに因子)などが挙げられます。コモンビートのプログラムでは、「ミュージカルなど身体表現を基にした未知の体験」を「公演という最終ゴールに向かって、他者と創りあげていく共有体験」として行う活動の特性、そして、誰でも参加できるような市民性に加え、チャレンジを受け入れながらポジティブに進めていくコモンビート独自の場づくりの特性の2つが、これらの主観的幸福感の因子を向上させていると考えられます。

参加者からの声

感情に素直になって、がむしゃらになることを忘れてた自分がいると再認識できました。仲間を想い、涙を流したのは人生でも初めての経験です。舞台を成功させるというただ一つの目標のはずなのに、気づけば周りの人たちが家族になって、オンラインでも話せるだけで気持ちが落ち着いたりする関係に。(30代・男性)

プログラム終了後からどう生きていくのか！熱い気持ちはあるが何をしたいかわからない、行動してみたら上手いかなかった、そんな人たちの受け皿を創っていきます！まずやってみます！(40代・男性)

人と繋がることが苦手だったけど、その大切さと温かさに気付かされた。大変なことだけでも、沢山の人の助けられ、支えられなんとか乗り越えることが出来た。日常に戻っても、この素敵すぎる仲間が自分には居るということを忘れずに、前を向いて生きていきたい。(20代・女性)

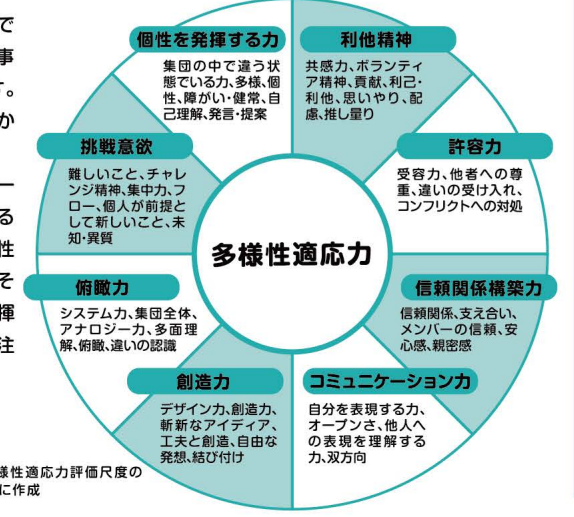
「何か良い、なんかすごい」からの脱却へ

これまで全国各地でたくさんの人を巻き込みながら活動を行ってきたコモンビート。その魅力は、実際に活動に参加した方には体感として伝わっても、活動に触れたことの無い人々には「何か良いんです！」「やればわかります！」としか伝えられない状況がありました。そこで、社会的な言葉でコモンビートの価値や魅力をより広く発信していくために、調査・研究が始動しました！

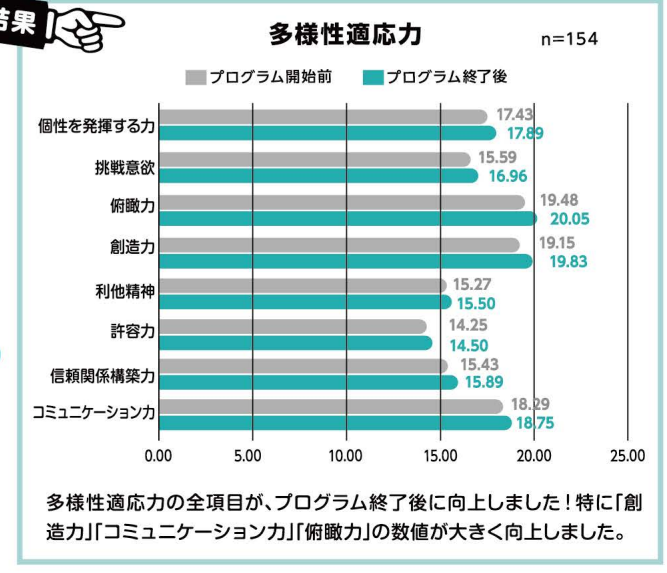
調査② 多様性適応力

調査結果

「多様な人材が集まる中でも自らの個性を発揮し物事を達成する力」のことです。右の図にある8つの要素から構成されています。ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)が注目される近年において、ただ多様性を受容するだけでなく、その中でも自分らしさも発揮していくための力として注目されています。



津々木ほか(2021)「多様性適応力評価尺度の開発と適用の試み」を基に作成



多様性適応力の全項目が、プログラム終了後に向上しました！特に「創造力」「コミュニケーション力」「俯瞰力」の数値が大きく向上しました。

考察

コモンビートにおける歌・ダンス・演技・対話などの表現活動では、「正解の無いものに向かって皆で1つのものを創りあげる」ことがベースとなっています。その活動の特性から、集団全体を俯瞰しながら、他者との健全な衝突も含めたコミュニケーションを重ね、新たなものを創造していくことから、上位3要素が大きく向上したと考えられます。

参加者からの声

他者を理解する力には自分にはある方だと思っていただけど、今回は周りに助けをもらうことが本当に多くて、関係性が深くなったことがとんでもなく嬉しかった。(20代・女性)

その人のために自分は何ができるだろうと自然に考えている自身に気付いた。(30代・男性)

違っていいけど、理解したい。私の根本にあるのはここなんだな、と思いました。でも、全てを理解することは不可能で、理解したいしされたいけど、できないことへの苛立ちや悲しさを感じたプログラム期間でした。そう思った時、理解できないことも〇(まる)なんだなあと感じて、なんだか人生面白いな、と思いました。(20代・性別未回答)

まとめ

今年度の調査結果から、コモンビートのプログラムでは「自分らしく・たくましく・違いを認め合える人」を育てており、日本社会の課題でもある主観的幸福感の向上に寄与していることが分かりました！2023年のコモンビート研究は「探求の年」です。ソーシャルキャピタルやアントレプレナーシップなど、今までにない様々な角度からコモンビートを見直し、価値を再考する一年にしていけます。またコモンビート独自だけでなく、他の団体や研究者との共同研究も進めていく予定です。ぜひご期待ください！

研究室紹介



河村 勇希 (ゆうき)
コモンビート研究室 室長
NPO法人コモンビート理事 / 一般社団法人 幸せなコミュニティとつながり実践研究所 理事 / 東京都市大学大学院環境情報学研究所 博士前期課程
[ひとこと] データでは表せない価値をえて形にしていくなかなか楽しかったです！
#ホークス命 #最近爆食気味 #今年はドラムを習いたい



高橋 真二郎 (しんじろう)
研究室 インターン生
東北大学経済学部経営学科 在学
[ひとこと] みんなで作ってきた20年の成果を言葉で紡いでいきたいです！
#ドジの数では負けない #のぼん系 #目指すはアーティスト

活動計画

100人100日ミュージカル



Jump in 週末留学



Diversity Journey



バババ！場づくりゼミ



See the difference



表現ひろば



学校訪問

その他、活動も、オンライン・オフライン共に、依頼を受け付けています！訪問ファシリテーターも募集中！この一年も、様々なプロジェクトで参加者を募集しますが、プログラム間の連携によって、循環を生み出していきます！

団体設立20周年を迎える2023年。ついに帰ってくる「100人100日ミュージカルプログラム」をはじめとしたオフラインにコロナ禍で生まれたオンライン活動、そして、20周年の新たな取組みなど、目白押し！

■主催

[57期東京プログラム] 2023年8月19日(土)・20日(日) @北とびあ さくらホール
[58期関西プログラム] 2023年11月10日(金)・11日(土) @吹田メイシアター 大ホール
[59期東京プログラム] 2024年2月10日(土)・11日(日) @北とびあ さくらホール

■共催

[新潟1期 100人ミュージカル プログラム] 2024年1月20日(土)・21日(日) @新潟テルサ

2023年の目標は、コモンビートに初めて触れる人を増やしていくこと。既存の参加者を巻き込みながら、より多くの人にこの作品とプログラムが届いてくよう、発信を強めていきます。

[2023 Sprig プログラム] 2023年5月14日(日)～6月11日(日)
[2023 Summer プログラム] 2023年8月13日(日)～9月10日(日)

オンラインのみならず、対面で国際交流ができるような機会づくりにも挑戦します。Instagramを開設し、楽しく世界を学べるような情報発信にも力を入れます！

#国際交流 #オンライン留学 #留学仲間 #平日も学べます

[4期 プログラム] 2023年1月28日(土)～3月5日(日) + 6月25日(日)
[5期 プログラム] 2023年9月23日(土)～10月29日(日) + 2024年2月17日(土)

エンタメから多様性を学ぶコーナーはもちろん、DJ名物企画「壁打ち」での対話や自己内省など多様なコンテンツ！国際チームとコラボレーションで海外ゲストをお呼びする新コーナーにも挑戦！今後も絶対に酔わない船旅は続いています！

#多様性の身だしなみ #対話 #問い #一度やったらハマる壁打ち

[3期 ゼミ] 2023年5月14日(日)～7月16日(日)
[4期 ゼミ] 2023年10月以降を予定

期間は短く、内容は濃く、さらに場づくりをゴリゴリ学び・実践していくプログラムに進化予定！参加者の立場でも場づくりはできる、「場を持っていない人はいない」という場づくりへの考え方がコモビ流。自分だけでなく周りの人もイキイキと過ごし、違いを楽しむ毎日、場づくりを通して共に作りましょう！

今年も継続的に開催し、いろんな違いに出会える楽しい場を提供します！年間20本、200名参加を目標にがんばります！運営や、グラフィックレコーディングスタッフも募集中！

#多様なゲスト #カジュアルに違いに出会おう #最後はアクション宣言

いよいよ今年で3周年となるコモンビートのオンライン公民館！

参加するもよし、企画者として企画を実施するもよし！

2023年も、毎月開催していきます！

募集
がっつりバディ(会員)
目指せ今年、400人のコミュニティへ！
ご新規さんも、復会さんも、継続さんもお待ちしています～！



これまでの人と再び「つながる」、そして新たに多様な人と「つながる。」20周年を機に、様々なプロジェクトを行います！



01. 寄付キャンペーン

1年を通じて寄付を受け付ます！ぜひ、20周年のお祝として、ご寄付をいただけますと幸いです！



02. 出版プロジェクト

初代理事長と現理事長の共著で、「場づくり」や「コミュニティ」をテーマにした本を出版するかも？



03. 記念グッズ販売

何をつくるのかは、できてからのお楽しみ!？みなさんからのご意見やアイデアも募集中です！



04. 記念イベント

12月2日(土)・3日(日)に、「渋谷ストリームホール」でイベントを行います！



1日目は記念パーティー、2日目は「D&I x エンタメ」イベントを開催予定です！ぜひ年末には対面で会いましょう！



Musical For All

あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を

歌が得意。踊るのは苦手。
違う言語を使う。裏方のほうが好き。
演じてみたい。舞台鑑賞が好き。
車椅子を使う。音楽が好き。

好きなことも苦手なことも、
もっと自分らしく表現できたら
一体どんな舞台が生まれるだろう？

「できる」「できない」を
もっと気軽に分かち合えたら
世界はどんなふうになるだろう？

それは、参加する人も、鑑賞する人も、応援する人も、
一つになってつくる舞台。
「ふつう」や「当たり前」から自由になって、
＜自分らしさ＞を分かち合う空間。

あらゆる違いが織りなす、
もっと多様で、もっと多彩な
ミュージカル「A COMMONBEAT」を届けたい。

Musical For All——あらゆる人に参加と鑑賞の機会を。

私たちは、参加する人、鑑賞する人、
あらゆる人のミュージカルへのアクセシビリティを高め
「個性が響きあう社会」の実現をさらに推し進めていきます。

団体設立20周年からの新たなチャレンジ！

具体的な取り組みや
プロジェクトの全貌は、
HPにて公開！



令和 4 年法人第 19 期決算報告（対令和 4 年予算）

令和 4 年度 損益計算書 収支決算（対 R4 予算計画）

（単位：円）

コロナ禍でのミュージカルの休止から、再開記念公演シリーズでの関東公演・関西公演において約 2 年ぶりに公演の幕を上げることができましたが、2022 年度は約 1,269 万円の大幅な赤字での着地となりました。

2022 年度予算の軸は、再開記念公演の収益でした。コロナ禍におけるミュージカルの再開は想定以上に大変でした。社会的にも感染リスクがある状況下で、感染予防対策を講じての運営となり、コロナ理由での参加や観劇の見送りの声も多く聞こえ、収入の柱であるキャスト集め、観客集め（チケット販売）が難航し、加えて想定していた助成金も採択されませんでした。また、その他のオンライン事業に関しても、感染拡大状況や各自のコロナの捉え方の変化により、オンラインでの価値提供がしづらくなり、想定を下回る集客となりました。そのため、予算約 4,930 万円に対して約 3,488 万円着地となり、大きな減収となりました。

事業費においては、ミュージカル再開記念公演での支出が主だったものになります。コロナ前の経費に加えて、必ず公演の幕を上げるべく徹底した感染予防対策としてオンライン配信、チケットぴあでの指定席化、ぴあへの委託販売による手数料、公演関係者全員へのスクリーニング検査（抗原 /PCR）、来場者への検温システムのレンタルなどの費用がかかっています。減収となることがわかった時点で全体的に経費削減を行い、計画に対しては約 450 万円程度セーブしています。管理費についてもできる限りの経費削減を行っておりますが、会計管理上の仕訳の都合で、計画に対して約 172 万円超過となっております。予算約 5,312 万円に対して 5,036 万円の着地となり、全体的には削減となりました。

大幅な赤字となりましたが、2020 年に行ったクラウドファンディングでの約 1060 万円の応援もあり、キャッシュフローはまだ維持できている状態です。コロナが常態化（マスク任意／5 類移行）する方向にもあり、来期の事業をしっかりと運営していければ、キャッシュフローが安定していく見込みです。

令和 4 年度 貸借対照表 （単位：円）			
科目		金額	
資産の部	流動資産	現金預金	¥17,499,397
		立替金	¥0
		前払費用	¥6,455,628
		未収金	¥742,215
		商品	¥64,334
	流動資産合計		¥24,761,574
	固定資産	敷金	¥0
固定資産合計		¥0	
資産の部 合計		¥24,761,574	
負債の部	流動負債	未払金	¥1,569,179
		未払法人税等	¥70,000
		未払消費税等	¥0
		前受金	¥5,382,940
		預り金	¥502,802
		仮受金	¥0
	流動負債合計		¥7,524,921
	固定負債	¥0	
	固定負債合計		¥0
負債の部 合計		¥7,524,921	
正味財産の部	前期繰越正味財産		¥29,991,361
	当期正味財産増減額		△¥12,754,708
	正味財産合計		¥17,236,653
負債及び正味財産合計		¥24,761,574	

令和 5 年法人第 20 期予算計画（対令和 4 年決算）

令和 5 年度 損益計算書 収支予算（対 R4 決算報告）

（単位：円）

2022 年度の約 1,200 万円の大幅な赤字を受けて、予算の引き締めを行いました。2023 年度予算では収入における見込み計上を減らし、必ず達成できる金額で計上し、その収入に合わせて支出を組みました。ミニマムでの予算化を行い、黒字化を目指します。

2023 年度の予算計画における収益の軸はミュージカルであることは前年度と変わりません。

収入においては約 6,960 万円の計上となります。再開記念シリーズ・九州公演は関東公演・関西公演の実績を踏まえての計上とし、第 57 期東京と第 58 期関西 100 人 100 日ミュージカルプログラムについては、例年計上していた金額の 7～8 割でキャスト参加費収入もチケット販売収入（上演数は 3 回を予定）を組みました。その他のオンライン事業における参加費収入も同じく 7～8 割で計上しています。また、「Musical For All ーあらゆるひとの参加と鑑賞の機会をー」の取り組みにあたり、社会連携収入（会費・寄付・協賛・助成金・補助金等）の獲得に挑戦します。その他、設立 2 0 周年記念での寄付キャンペーンや記念イベントの収入も計上しています。

支出においては約 7,006 万円（事業費約 5,292 万円＋管理費約 1,713 万円）の計上となります。事業費はミュージカル公演数が増えているため増額になっておりますが、管理費と共に全体的に圧縮しています。収入を達成できれば、支出分を生み出すことができ、増収すれば、その分がそのまま利益となる仕組みにしており、その利益分は全体での収支増減に対してバランスを取りながら充たさせていき、最終的に黒字化できるようにコントロールしていきます。

そして、経常外利益として約 75 万円（雇用調整助成金等）を計上し、最終的に約 28 万円の黒字での着地を目指します。

依然として、ミュージカルに依存する収入構造であるため、今年度から社会連携収入を計上しているように、少しずつミュージカル事業の参加費とチケット販売収入への依存から脱して、収入のポートフォリオの多様化を目指し、財政の健全化を目指します。

売上		R4収支決算	R5予算	差異
	事業収入	¥33,285,398	¥68,032,000	¥34,746,602
	会費収入	¥1,497,710	¥1,566,000	¥68,290
	助成金収入	¥0	¥0	¥0
	寄付金収入	¥95,631	¥0	△¥95,631
	協賛金収入	¥0	¥0	¥0
	受取利息	¥1,147	¥0	△¥1,147
	雑収入	¥3,134	¥0	△¥3,134
	経常収入計	¥34,883,020	¥69,598,000	¥34,714,980
事業費	期首商品・製品棚卸高計	¥59,390	△¥64,334	△¥123,724
	【事】給料手当	¥0	¥4,200,000	¥4,200,000
	【事】法定福利費	¥0	¥630,000	¥630,000
	【事】福利厚生費	¥24,684	¥0	△¥24,684
	【事】施設使用料	¥3,039,380	¥8,468,020	¥5,428,640
	【事】会議費	¥99,749	¥473,500	¥373,751
	【事】旅費交通費	¥1,929,611	¥5,725,500	¥3,795,889
	【事】通信運搬費	¥245,433	¥386,400	¥140,967
	【事】消耗品費	¥2,300,605	¥3,960,000	¥1,659,395
	【事】業務委託費	¥9,227,094	¥10,407,500	¥1,180,406
	【事】謝金	¥136,796	¥40,000	△¥96,796
	【事】支払手数料	¥2,370,314	¥1,747,490	△¥622,824
	【事】地代家賃	¥700,040	¥740,000	¥39,960
	【事】賃借料	¥268,867	¥390,000	¥121,133
	【事】印刷製本費	¥291,888	¥1,135,000	¥843,112
	【事】雑費	¥34,914	¥100,000	¥65,086
	【事】車両費	¥806,746	¥930,000	¥123,254
	【事】広告宣伝費	¥71,748	¥340,000	¥268,252
	【事】商品製作費	¥386,702	¥423,000	¥36,298
	【事】外注費	¥6,541,442	¥12,590,380	¥6,048,938
	【事】保険料	¥13,220	¥240,000	¥226,780
	【事】租税公課	¥200	¥0	△¥200
	当期事業費 計	¥28,489,433	¥52,926,790	¥24,437,357
	期末商品・製品棚卸高計	△¥64,334	△¥64,334	¥0
	事業費計	¥28,484,489	¥52,926,790	¥24,442,301
支出	【管】役員報酬	¥7,200,000	¥7,200,000	¥0
	【管】施設使用料	¥0	¥0	¥0
	【管】給料手当	¥5,400,000	¥7,560,000	¥2,160,000
	【管】福利厚生費	¥40,000	¥9,564	△¥30,436
	【管】法定福利費	¥1,992,000	¥2,104,178	¥112,178
	【管】会議費	¥0	¥45,414	¥45,414
	【管】旅費交通費	¥620,000	¥221,417	△¥398,583
	【管】通信運搬費	¥493,600	¥515,312	¥21,712
	【管】消耗品費	¥200,000	¥61,151	△¥138,849
	【管】賃借料	¥0	¥0	¥0
	【管】業務委託費	¥1,830,000	¥1,953,000	¥123,000
	【管】支払手数料	¥0	¥362,366	¥362,366
	【管】新聞図書費	¥200,000	¥0	△¥200,000
	【管】地代家賃	¥246,000	¥243,400	△¥2,600
	【管】印刷製本費	¥100,000	¥77,240	△¥22,760
	【管】租税公課	¥575,000	¥339,800	△¥235,200
	【管】諸会費	¥20,000	¥20,000	¥0
	【管】雑費	¥80,000	¥56,437	△¥23,563
	【管】外注費	¥0	¥65,000	¥65,000
	【管】支払報酬料	¥1,075,000	¥918,081	△¥156,919
	【管】広告宣伝費	¥0	¥117,975	¥117,975
	【管】保険料	¥50,000	¥0	△¥50,000
	管理費計	¥20,121,600	¥21,870,335	¥1,748,735
	経常費用計	¥53,120,560	¥50,354,824	△¥2,765,736
	経常収支差額	△¥3,822,160	△¥15,471,804	△¥11,649,644
特別利益	【管】受取給付金	¥2,500,000	¥2,787,250	¥287,250
	税引前当期純損益金額	△¥1,322,160	△¥12,684,554	△¥11,362,394
	法人税、住民税及び事業税	¥0	¥70,154	¥0
	当期正味財産増減額	△¥1,322,160	△¥12,754,708	△¥11,432,548
特別利益	【管】受取給付金	¥2,787,250	¥750,000	¥2,037,250
	法人税、住民税及び事業税	¥70,154	¥0	¥70,154
	当期正味財産増減額	△¥12,754,708	¥285,154	¥13,039,862

役員改選!

任期満了に伴い、全ての理事・監事が改選となります。
下記が候補者一覧です。



安達亮 理事 再任

NPO 法人コモンビート 代表理事
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 理事

20 周年の節目を迎え、ミュージカルの本格再開に加えて「Musical For All (MFA)」を中心とした社会連携の活動を追加して、コモンビート 2.0 に進化させていきます。引き続きの応援をよろしくお願いします!



河村勇希 理事 再任

NPO 法人コモンビート 研究室長
ワークショップデザイナー
東京都市大学大学院環境情報学研究科博士前期課程

コモンビートがさらに社会とつながり、価値を生み出していく新たなフェーズへ。その力になれるよう、論理的にかつ感覚的に、社会をさらに元気にする方法を今後とも探求していきます!



佐藤槇子 理事 再任

一般社団法人 cottonari 代表理事
NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 副代表理事

コモンビートと出会って 15 年、理事としてコモンビートに参画してからは 5 年目を迎えます。今年で 20 周年となるコモンビートのこれからの社会への発信を支えていく一員として、微力ながら役に立てたと思います!



宮川公平 理事 再任

名古屋外国語大学世界共生学部教授
特定非営利活動法人フェアトレード名古屋ネットワーク 理事

所属する学部では「共生」をキーワードに、学生たちと日々学んでいます。多様性をたいせつにするコモンビートでも皆さんと一緒に「共生」を学んでいきたいと思っています。



鈴木秀夫 監事 再任

株式会社 Wiz 代表取締役
国家資格キャリアコンサルタント
GCDF キャリアカウンセラー

自分の強味、持ち味や自分らしさを如何なく発揮していける世の中を創りたいと心から思っています。そんな自分に気付くことのできる場を提供していきたい、そんな想いでこの団体に関わっています。

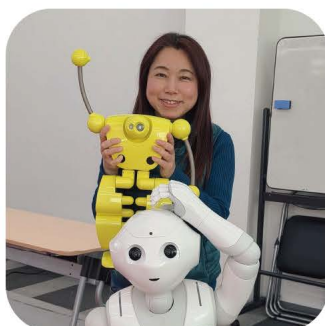
第4号議案

議事録署名人

議事録署名人を以下に推薦します。

会員(事務局員) 前嶋葵

会員(事務局員) 花宮香織



白上昌子 理事 再任

認定 NPO 法人アスクネット 顧問

大きく生まれ変わろうとしているコモンビートとこれからも関わらせて頂くこととなり、とてもワクワクしています。
20 周年という歴史的節目の先にある新たな景色を皆さんとともに作りあげていきたいと思っています。



中島康滋 理事 再任

コモンビート創業者/理事
サスティナブル・ストーリー株式会社 代表取締役

みんなに育ててもらったコモンビートは、いよいよ成人の歳を迎えました。色々な危機にもたくさん思いを寄せていただき、そして支えていただき、ありがとうございました。
これから、もっと社会の彩りと幸せを増やせるよう、新しいチャレンジを続けていきます。どうぞよろしくお願いします。



花宮香織 理事 再任

NPO 法人コモンビート 事務局長
NPO 法人コモンビート 副理事長

設立 20 周年を迎えて掲げる新たなチャレンジに、心も踊っています。
今期も、目指すべき北極星であるビジョンの方角を見失わずに、事務局という船を愉快に真面目に必死に漕いでいきます!よろしくをお願いします!

特定非営利活動法人コモンビート
第19期総会資料 Futurebook 2022→2023
2023年3月発行

特定非営利活動法人コモンビート
〒108-0014 東京都港区芝4丁目11-1 TB田町ビル 1階 MBE103 (私書箱)
TEL 03-4500-1785 / MAIL info@commonbeat.org / HP <http://www.commonbeat.org>

非売品 コモンビート会員限定 ※無断複製、第三者へのインターネットによる公開・共有などを禁止します。